

施策名【街並み緑化・公園・景観形成】

章	節	施策		主要施策	事務 事業 コード	事 業 数	事務事業	課	係	管理 方法	備考
5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり	1.豊かな自然環境との共生	2.街並み緑化・公園・景観形成	(1)	緑豊かな街並みの形成	5121-1	1	公園維持管理事業	公園緑地課	公園管理係	通常	
					5121-2	2	緑のパートナーシップ事業	公園緑地課	公園管理係	通常	
					5121-3	3	都市公園セーフティリニューアル事業	公園緑地課	公園管理係	通常	
			(3)	美しく豊かな景観の育成	5123-1	4	景観形成推進事業	建築住宅課	建築係	通常	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	公園維持管理事業			事務事業コード	5121-1
担 当	建設 部	公園緑地 課	公園管理 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	都市公園法	
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☒ 補助金・負担金 ☒ その他 (アダプトシステム)				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	2.街並み緑化・公園・景観形成
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 安心安全で快適な憩いの場所として市民や地域が愛着を持ち公園を利用している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・指定管理者制度を活用した公園管理(4公園) ・シルバー人材センターを活用した公園の維持管理(草刈・清掃・修繕等)の委託 ・障がい者施設等による公園維持管理(草刈・清掃・軽作業)の委託 ・公園施設の破損個所の早期対応 ・公園利用者からの情報提供や苦情等に基づく施設修繕などの早期対応 ・アダプトシステムによる公園の維持管理	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	203,762		224,474		223,408	
	人件費	2.80 人	19,180	2.80 人	20,356	2.80 人	20,356
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	19,180		20,356		20,356	
	総事業費	222,942		244,830		243,764	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	267		825		523	
	一般財源	222,675		244,005		243,241	
	財源合計	222,942		244,830		243,764	

令和 5 年度 実施内容	・指定管理者制度による公園の維持管理(3公園) ・シルバー人材センターを活用した公園の維持管理(草刈・清掃・修繕等) ・障害者施設等による公園維持管理(草刈・清掃・軽作業) ・修繕の必要性が発生した公園施設の修繕
-----------------	---

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
都市公園施設の 巡視回数 (週1回以上)	回	実績	53	53	
		目標	53	53	53
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
公園管理における 苦情件数	回	実績	17	16	
		目標	16	16	16
	%	達成率	106%	100%	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	＜説明＞
	概ね達成	都市公園施設状況確認のため巡視を週に1回以上実施。
官民連携の可能性	方法	＜説明＞
	民間への委託が可能	施設管理を実施するにあたってのアダプトシステムなどの協働による維持管理の推進
事業の課題	・老朽化による施設の破損及び事故防止のため、定期的に巡視を継続することが必要である。 ・老朽化した施設や設備を順次更新する。破損等があった場合は、修繕や更新までの間は、使用禁止にするなど適切に対応する。 ・高木の枯木、枯れ枝の確認を行う。高樹齢のケヤキなどは地域住民の方々と協議しながら、枝払い等を実施する。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の 方向性	現行どおり	期間・時期	令和	年度 ～ 令和	年度
今後の 取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・公園施設の長寿命化計画等に基づき、改修および更新をする。 ・施設の巡視により施設状況の把握に努める。(施設、樹木等) ・アダプトシステム等、協働による施設管理を推進する。				

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	緑のパートナーシップ事業				事務事業コード	5121-2
担 当	建設 部	公園緑地 課	公園管理 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	都市公園法		
管理方法	通常					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☒ その他 (アダプトシステム)					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	2.街並み緑化・公園・景観形成
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民や企業・団体が携わる公共施設の緑化活動を支援することで活動の輪が広がり、安らぎと潤いのある、緑化事業が展開されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・行政区などの地域団体が実施する公共施設や公益施設などの緑化活動に対し、必要な花苗や樹木、資材等の支給を行う。 ・地域や企業が行う公園の清掃活動や草刈を行うアダプトシステム(里親事業)への機械の貸出しや燃料等の支給等の支援をする。 ・緑化推進アドバイザーによる講演会等を実施する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	2,479		2,423		2,752	
	人件費	0.90 人	6,165	0.90 人	6,543	0.90 人	6,543
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	6,165		6,543		6,543	
	総事業費	8,644		8,966		9,295	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	2,402		2,381		2,700	
	一般財源	6,242		6,585		6,595	
	財源合計	8,644		8,966		9,295	

令和 5 年度 実施内容	・地域緑化事業による、花苗の配布 ・アダプトシステムによる公園・緑地の維持管理 ・緑化推進アドバイザーによる植栽講座の実施(1回)
-----------------	---

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
公園・緑地アダプトシステム参加団体数	団体	実績	32	32	
		目標	33	33	33
	%	達成率	96%	96%	
成果指標	単位				
公園・緑地アダプトシステム実施面積	㎡	実績	108,828	112,143	
		目標	113,838	113,838	113,838
	%	達成率	95%	99%	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	都市公園施設状況確認のため巡視を週に1回以上実施。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	施設管理を実施するにあたってのアダプトシステムなどの協働による維持管理の推進
事業の課題	・老朽化による施設の破損及び事故防止のため、定期的に巡視を継続することが必要である。 ・老朽化した施設や設備を順次更新する。破損等があった場合は、修繕や更新までの間は、使用禁止にするなど適切に対応する。 ・高木の枯木、枯れ枝の確認を行う。高樹齢のケヤキなどは地域住民の方々と協議しながら、枝払い等を実施する。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・公園施設の長寿命化計画等に基づき、改修および更新をする。 ・施設の巡視により施設状況の把握に努める。(施設、樹木等) ・アダプトシステム等、協働による施設管理を推進する。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	都市公園セーフティリニューアル事業			事務事業コード	5121-3
担 当	建設 部	公園緑地 課	公園整備 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	都市公園法	
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	2.街並み緑化・公園・景観形成
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 都市公園について、長寿命化計画に基づき施設の改修、更新及び修繕をすることで、安全で快適な公園の利用環境を確保するとともに、ライフサイクルコストの縮減を図る。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・長寿命化計画の見直し及び策定を行い、適切な公園管理計画を策定する。 ・長寿命化計画に基づき、計画的に公園施設の改修、更新を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	91,762		37,585		9,785	
	人件費	2.45 人	16,783	2.45 人	17,812	2.45 人	17,812
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	16,783		17,812		17,812	
	総事業費	108,545		55,397		27,597	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	77,596		32,900		7,400	
	一般財源	30,949		22,497		20,197	
	財源合計	108,545		55,397		27,597	

令和 5 年度 実施内容	・都市公園4公園で39施設の更新及び修繕を実施した。
-----------------	----------------------------

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
改修、更新を実施した施設数	施設	実績	23	39	
		目標	59	40	23
	%	達成率	39	98	
成果指標	単位				
長寿命化計画に基づく施設の整備度	%	実績	39	98	
		目標	100	100	100
	%	達成率	39	98	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	都市公園4公園で39施設の更新及び修繕を行なった。また、翌年度繰越により、4公園5施設を実施する予定。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	公園施設の改修、更新の実施は収益につながるものではなく、都市公園を安全で安心して利用できる都市公園整備の推進であるため、市で実施する必要がある。
事業の課題	令和3～4年度に策定済みの公園施設長寿命化計画に基づき、緊急性の高い施設について更新を実施している。5年度(4年度繰越含む)は概ね予定どおり実施。 未実施の箇所についても公園施設長寿命化計画の成果を参考に、状況を確認しながら順次改修、更新を行う必要がある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ～ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 令和3～4年度に公園施設長寿命化計画の見直し及び策定を実施しており、それにより計画的な公園施設の改修、更新を行うことで、安全で安心して利用できる都市公園整備の推進を図るとともに、ライフサイクルコスト縮減が図れるよう、ストックマネジメントに努める。また、施設の改修、更新等を実施する際、市民のニーズを取り入れ、都市公園が交流人口創出の場として、一層機能するよう努めていく。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	景観形成推進事業			事務事業コード	5123-1
担 当	建設 部	建築住宅 課	建築 係	事業開始年度	平成 21 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	景観法、佐久市景観条例	
管理方法	通常			屋外広告物法、長野県屋外広告物条例、知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例	
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	2.街並み緑化・公園・景観形成
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民は広がりのある田園空間から、浅間山や八ヶ岳連峰を眺望できる。また、この原風景と調和した市街地の新風景の中で、市民は充実した生活を送っている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・佐久市景観条例に基づく届出に対して、良好な景観を後世へ引き継ぐため、佐久市景観計画に規定する景観育成基準に基づき指導を行う。 ・長野県屋外広告物条例に基づく屋外広告物許可地域に掲出される屋外広告物に係る許可事務や違反広告物に係る指導、除去等について、知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例により、県に代わり事務処理を行う。 新たに規制の必要があると判断する区域等がある場合、現地調査や住民説明会、景観審議会の審議等を経て、県と連携し指定に向けた取り組みを行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	85		86		290	
	人件費	0.60 人		0.45 人		0.65 人	
	常勤職員	4,110		3,272		4,726	
	非常勤職員等	205 時間		218 時間		218 時間	
	人件費合計	4,383		3,562		5,015	
総事業費		4,468		3,648		5,305	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	85		203		173	
	一般財源	4,383		3,445		5,132	
	財源合計	4,468		3,648		5,305	

令和 5 年度 実施内容	・佐久市景観条例に基づく届出及び長期優良住宅に係る景観計画への適合確認照会等に対し、内容の確認及び改善指導等を214件行った。 ・長野県屋外広告物条例に基づく許可申請について45件処理した。
-----------------	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
景観計画に基づく届出等処理件数	件	実績	216		
		目標	80	200	
	%	達成率			
成果指標	単位				
良好な景観を保全育成するため、届出に対する指導の改善・是正率	%	実績	100	100	
		目標	100	100	100
	%	達成率	100	100	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	・景観条例に基づく届出等216件に対し、内容の確認及び必要に応じ改善指導等を行い、景観育成に影響を及ぼさない計画に導いた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	佐久市が景観法に基づく景観行政団体となっており、法及び条例に基づき、景観計画により制限が定められた行為を行う者から、届出の提出を受け、確認や指導を行う必要がある。屋外広告物の許可や違反物件等への指導は、長野県から権限移譲されているため、市において実施する必要がある。
事業の課題	景観や屋外広告物に対する規制等は、時間の経過や責任者等の異動等により認識が薄れ、許可更新や規制の範囲内での屋外広告物の掲出、着手前の景観に係る届出等がなされず、違反となる例がある。また、事業者の経済活動と景観への配慮が相反する場合もあり、協力を得ることが容易ではない。屋外広告物が適切に管理されていない事例があり、倒壊事故も発生している。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・景観に関し、市民や土地所有者、事業者等の意識向上を図るため、引き続き広報活動を行っていく。 ・屋外広告物の所有者及び管理者に安全点検の必要性の認識と適正管理に係る意識向上を図るため、広報活動を行っていく。 ・景観条例や長野県屋外広告物条例の違反となる屋外広告物に対し、速やかな指導等が行えるよう、巡回パトロールを行う。		